

## ★京都市紫竹児童館のアンケート結果について★

配布人数 213 人、回収人数 151 人（回収率 70%）の方からのご協力をいただき、ありがとうございました。日常の児童館の業務や対応、施設面での課題など、たくさんのご意見をいただくことができました。

感染症対策を講じ、時に制約もある中で、自由来館の子どもたちからは、「楽しい」「たくさんができる」、学童クラブの子どもたちからは、「児童館で遊んだら楽しい」「友だちと遊べて楽しい」という意見が多くありました。一方で、「楽しくない」という意見もあり、職員が一層子どもたちの様子に目を配り耳を傾け、子どもたち一人ひとりの居場所となるような児童館を目指していきたいです。また、「ゆっくり過ごせない」ことに関しては、行事や取組の進め方などを工夫し、子どもたちがのびのびと過ごせる環境作りや様々な体験ができるような事業展開に努めていきます。今回、中高生への配布が実施できず、中高生の利用の促進も今後の課題として考えてまいります。

学童クラブ児童の保護者の方からは、「児童館に喜んで行っている」「いきいきと活動している」という意見が多くありました。反面、そうではない意見もあり、保護者の方と信頼関係を深めながら、安心して学童クラブを利用できるような環境作りに努めていきます。

乳幼児の保護者・地域の方からは、「他の子と触れ合う機会になっている」「子どもが楽しそうにすごしている」という感想をいただいています。

また、「児童館内で危ないと思う場所がある」という意見、防犯対策に不安を感じておられる意見もありました。今後とも、対策・改善を行うとともに避難訓練、交通安全・防犯教室の引き続きの実施、市社協様式「安全確認表」を日々活用して、事故や災害のさらなる予防にも努めていきます。

今後とも、感染予防に努めながら、地域のみなさまの心地良い居場所となりますよう、児童館の特性を生かした事業を地域の方々とともに展開していきたいと思えます。

京都市紫竹児童館  
館長 児玉 洋子

## ★児童館利用者共通アンケートへの御協力のお礼★

本会運営の児童館で実施致しました標記アンケートに、小学生 2,504 名、中高生 55 名、保護者 2,262 名の合計 4,821 名という多くの皆様に御解答をいただきました。お忙しい中にも係らず貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

今年度は地域住民の皆さまにもアンケートの御協力をいただきました。コロナ禍において、児童館ならではの多世代の皆さまと子どもたちが交流する機会が減少している中、「市社協児童館らしく赤ちゃんから高齢者まですべての人の居場所になっている」「子どもたちと話ができ元気がもらえる」などのご意見や、職員への感謝やねぎらいの言葉を多数頂戴し、職員一同の大きな励みとなりました。今後も子どもたちや利用者のご意見に耳を傾けながら、より一層地域に開かれた児童館を目指して努力してまいります。本会児童館の運営への御理解・御協力を、よろしくお願ひいたします。

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会